

# 9.1 朝鮮人大虐殺糾弾! 日韓定期閣僚会議粉碎! 本日 京都決起集会へ

## 9.1を繰り返すな!

本日9月1日は、今から54年前の1923年、関東大震災が起った日です。この大震災の日、日本軍・警察は、「朝鮮人が井戸に毒を投じた」「朝鮮人が暴動を起す」などと意図的なデマ・流言をばし、確認されているだけでも、7000名にも及び在日朝鮮人、中国人が大虐殺されました。これは、日本帝国主義による朝鮮支配が朝鮮民族の独立と解放を願うコいによって反抗され、日本支配者や軍閥が朝鮮民族に敵意を強めていたこと、そして、人種を支配し、他民族を抑圧するためには、推取され、圧迫を受けているもの同士を憎しみあわせるといった差別分断支配によるものとした。いかに、支配者におどらされたとはいへ、朝鮮人を殺したのは、「貪しいくま」でした。そして、戦前、戦中を通じて、日本帝国主義は、朝鮮の国を奪い、土地を奪い、財を奪うことによって、多くの朝鮮人を日本に強制連行し、低賃金労働や無権利状態におとしこめました。戦後も、アメリカ帝国主義は引き続き朝鮮を支配下におき、在日朝鮮人の帰国を妨害し、様々な差別と迫害の政策をとってきました。しかしながら、朝鮮民族は、米帝の侵略戦争に反対する偉大な民族解放闘争を行い、38度線によって、国土を分断されたながらも、統一に向けたコいを続けています。しかし、現在なお、在日朝鮮人は、「日本ごと日本社会の民族差別の現実」によって、就職、教育、生活保障上の一切の無権利を強要されているのです。

## 米日帝国主義の朝鮮侵略に反対しよう!

今年より登場したアメリカ、カーター政権は、「在韓米地上軍の撤退を公約し」、「人権外交」をおしすすめ、「朴大統領の米議会工作」を批判したりして、「平和の使

者」を装っています。しかし、これは、全世界人民をあげて、強盗の空言どし  
かりません。アメリカ帝国主義こそ、ソ連とともに、世界の到る所を、覇権を握り、  
核ドゥカツによって支配と争奪を強めているのです。その朝鮮政策も、ベトナム人  
民の斗いに敗北した結果、「アジア人とアジア人を戦わせる」というものであり、  
板門店事件で明らかになったように、戦争挑発です。また日本帝国主義も、米帝の  
後援から、「アジアの盟主」として、資源や市場を求めてアジア侵略を強めていま  
す。そして、国内においては、搾取、収奪を強め、三里塚農民の斗いを、深山斗争  
部落解放運動を、康山氏の虐殺、石川氏の獄死攻撃によっておしつぶし、労働者、  
人民の斗いを弾圧しています。

## 日韓定期閣僚会議に反対しよう

日本帝国主義、独占資本は、韓国に対する経済援助を強めています。私たちが  
税金によるその援助が、朴独裁の延命を支え、韓国の一握りの資本家や、日本の独  
占資本、そして、田中や貝玉の私腹をこやしつづけているのどしかりません。また、米議会  
での金炯世(キムヒョウセ)証言によって、金大中(キムデジュン)氏事件に、K  
CIA、日本の自衛隊、警察が関与したことが明らかになっています。このように  
朴の独裁を支え、日韓の資本家のもつけをみせし、労働者や農民を窮乏化、隷属さ  
せることをねらって、9月5、6日、東京に於いて、日韓定期閣僚会議が開か  
れようとしています。

## 搾取、侵略、差別に反対する労働者の斗いを

私たち日本労働者階級人民は、日本帝国主義の朝鮮侵略に反対し、朝鮮民族の統  
一を心から支持しなければなりません。米日帝国主義による敵視政策と南北分断固  
定化策動の下で、社会主義祖国を守る共和国の斗い、韓国の民主化斗争、そして、  
在外韓国人の「韓民連」結成を支持し、在日朝鮮人に加えられる差別、迫害を断つ  
ず、彼らの民主的民族的諸権利を保障することは、私たち労働者が、職場での搾取  
合理化と斗い、生活と権利を守る斗いと一体のものであり、共に斗い抜きましょう!

## 侵略、差別と闘う京都連絡会議

6:30PM 労働者総会館 前